



わがまちで地域共生をすすめよう！

「認知症地域支援推進員活動の質の向上」7つの鍵

あなたのまちでは、認知症地域支援推進員がやりがいを持って活躍できていますか？

< 認知症地域支援推進員活動の現状は・・・ >

- 認知症地域支援推進員（推進員）は、全市区町村に配置され、現在では全国で7,000人以上の推進員が活躍中です。
- 認知症施策の推進役、地域のネットワークづくりの要役を担うのが推進員。
最近では、認知症施策推進大綱で重要施策の一つとして掲げられている認知症の本人等の「社会参加活動」の推進役としても期待されています。
- 令和2年度に皆様のご協力を得て実施した全国調査結果によると、推進員の多くの人たちが、とても多くの役割機能を担いながら、地域共生の進捗に大きく貢献していることが明らかになりました。
- 一方、方向性や役割の焦点が不明確であったり、活動環境が整わないために、十分な活動ができずに苦慮している（結果として、活動成果をうみだせていない）推進員も、決して少なくない実態も浮き彫りになっています。

< 認知症地域支援推進員活動の質の向上にむけた提言（7つの鍵） >

- 推進員活動の質は、推進員個人のみで確保・向上を行うものではありません。
- 市区町村の行政担当者*と推進員との協働で成り立つのが、推進員活動です。
*行政担当者が推進員を兼ね他に推進員がない場合は行政担当者が上司等他の行政職員との共通理解・協働が必要です
- 全国調査の結果等から、行政担当者と推進員とが推進員活動のこれからの方向性や役割機能の焦点について、共通の認識をもちながら推進員活動を共に進めていくことの重要性が明らかになりました。
- その一助としていただくために、調査結果等をもとに「推進員活動の質の向上に向けた提言（7つの鍵）」をまとめました。
- どれも基本の“基”のことばかりです。
ぜひ、7つの鍵を参考に、あなたの自治体でも、推進員活動の現状とこれからの活動のあり方について、行政担当者と推進員が、話し合う機会を作ってください。
- なお、推進員活動の質の向上の鍵の7つ目に「推進員活動の質の評価」があります。
最後のページをどうぞご覧ください。

推進員が活躍しているまちでは、地域共生が一步一步進んでいます。

あなたのまちでも、行政担当者と推進員が力を合わせて、地域共生づくりを進めていきましょう。

推進員活動の質の向上に向けた提言(7つの鍵)

1. めざすは『地域共生』、わがまちならでのビジョンを具体的に語り合おう

- *実現したいわがまちの「地域共生」の本人の姿、地域の姿の具体を、自分ごととして素朴に話し合おう
- *遠い未来ではなく、今、わがまちで暮らす本人たちの中に目指す姿の種がたくさんある

2. すべては本人の声と視点を起点に。日常的に本人発信のチャンスをつくり、声を伝え合おう

- *施策も推進員活動も本人の声が出発点。本人視点にたって役立つものにしていこう
- *新たに特別のことをしなくても、日常業務や本人との接点の中に本人の声を聴ける場面がある
- *本人はやりたいことや希望を呟いている。声を出せる関係を大切に、声をよく聴き、声を活かそう

3. 本人の社会参加活動に注力し、ともに支え合う多領域の仲間の輪を広げよう

- *本人は地域の中で暮らしてきており、本人の声の中に、社会参加活動のきっかけが豊かにある
- *本人がやりたいことを一緒にやりたい、応援したい地域の人、専門職がわがまちに必ずいる
- *本人が地域の中で活躍し楽しむ機会があると、本人が生き生きし、地域共生が自然体で広がる

4. 一人を大切に、小さな成果を生み出し、地域の中で成功体験の連鎖を生み出そう

- *本人と継続的に関わり本人が望む些細なことを一緒に叶えていく過程で、本人や関係者が元気になる
- *推進員等が小さな成果をつくり、それを地域にも伝えながら、次の一人を増やしていこう

5. 認知症と共に生きる希望と力を地域に伝え、みんなの認知症観を刷新しよう

- *本人が地域の中で生き生き暮らす姿の実際を、地域で暮らす人、働く人、専門職に伝えていこう
- *生き生きした本人の姿に触れる人、一緒に過ごす人を増やすと、希望のある認知症観が自然と広がる

6. わがまちの強み・弱みを活かして、暮らしやすいまちを本人とともにつくっていこう

- *本人にとっては住み慣れたまちの中に、力を保ち引き出すためのきっかけがたくさんある
- *わがまちの人、モノ、場、自然等をフルに活かそう。足りない時こそ新たなつながりを生むチャンス

7. 本人やその身近な人と対話を重ね、企画と実施、見直しと評価を行い、改善を続けていこう

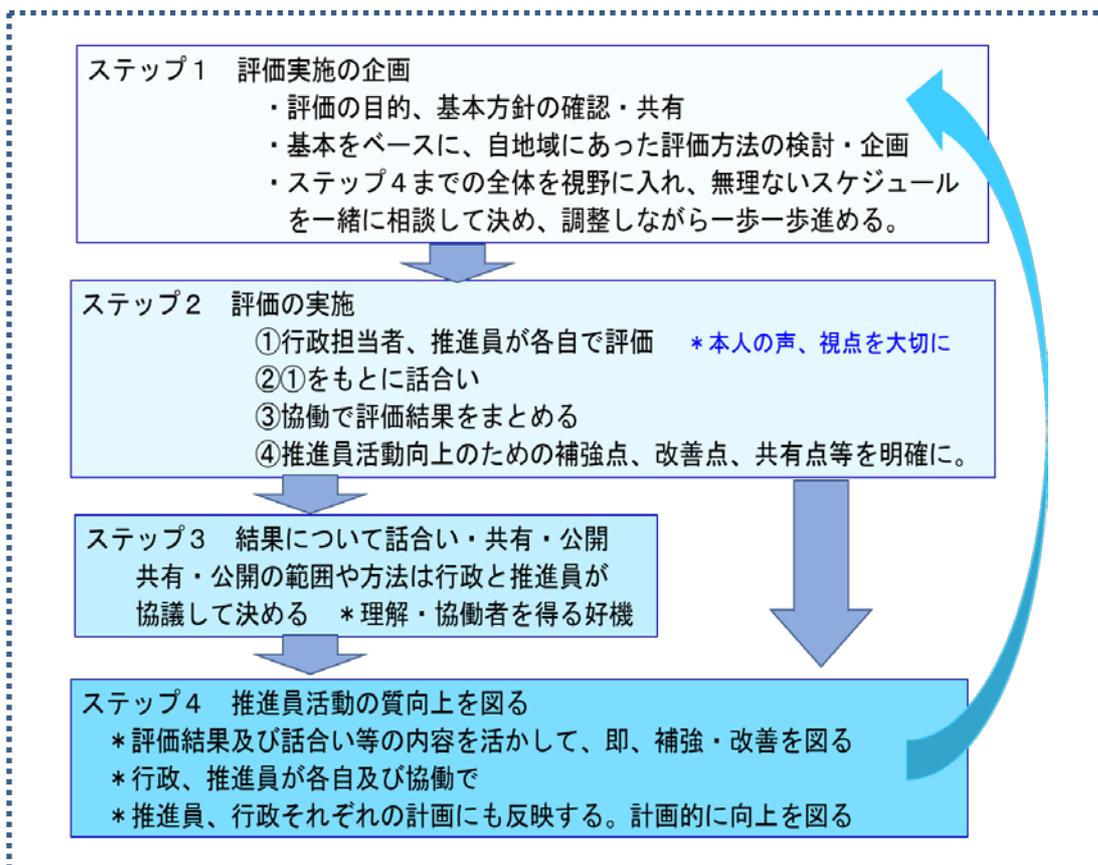
- *事業や支援、サービス等を本人抜き、本人をよく知る現場の人抜きで進めない。
- *企画段階から本人、現場の人たちと率直に話し合い、実施や見直しも本人と現場の声を大切に。
- *事業や取組みを個々に見直すだけでなく、行政担当者と推進員と一緒に、推進員活動の質の評価をやってみよう。地域共生を生み出すためにやるべき焦点、できることを共有し協働力を高めていこう

「推進員活動の質の評価」に トライしてみよう！ 話し合ってみよう！

☆市区町村の行政担当者と推進員が、現状を確認しあい、気づきや意見を持ち寄りながら、推進員活動の質の向上のためにやるべきこと・できることを具体的にみつけ、推進員活動の改善・質の向上を実際にはかっていく取組みです。

☆「質の評価」に取り組むことで、行政担当者と推進員が、率直に話し合い、互いを知り、方針あわせをしながら、協働力とやる気が高まります。
あなたのまちでも、いっしょに、トライを！

推進員活動の質の評価の流れ（基本版）



「推進員活動の質の評価」に取り組んで見たい方へ

認知症地域支援推進員、自治体の担当者など

「質の評価」に実際取り組んでみたい方は、
どうぞ、下記の東京センターにメールでお問い合わせ下さい。

*「質の評価」を進めていくための、資料提供やご相談、
バックアップをさせていただきます。

令和2年度 厚生労働省老人保健健康増進等事業
認知症地域支援推進員の質の評価と向上のための方策及び認知症の人等の
社会参加活動の体制整備に関する調査研究事業

制作：認知症介護研究・研修東京センター

令和3年3月

認知症介護研究・研修東京センター 推進員担当

連絡先：suishinin@dcnet.gr.jp